



正校

兵害償
論

正



兵害償ヒ、論

我輩ハ先ツ此兵難ヲ三様ニ區別セサルヘカラス

第一 自國政府ノ命ニ出ル軍役

第二 敵ニ強取セラレタル軍需

第三 兵害分テ四トス

甲 自國政府ノ命ニ出テ、蒙リタル害

乙 自國政府ノ過誤ニ因テ蒙リタル害

丙 敵兵ノ爲メニ蒙リタル害

丁 内亂及ヒ地方ノ暴動ニ因テ蒙リタル害

第一 自國政府ノ命ニ出ル軍役

自國政府ノ命ニ出テ、國人ノ務ムル軍役ハ(第一)兵糧庫ニ送付
スル麵包、日本米穀以テ内、秣ノ類(第二)兵隊ノ進軍及ヒ宿陣ニ於テ
兵卒、士官等ニ供スル食物(第三)馬、牛、車等ノ如キ運輸用ノモノ

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈

一任

四軍舍用材、庖厨、及ヒ防寒用、薪、檢、築等建築ノ諸器具(第六)諸種ノ器具但ヒ人夫、建物、地面、騎兵、及ヒ大砲隊等用ノ馬匹(第六)諸種ノ器具但ヒ悉ク其名目ヲ爰ニ掲ケバ煩ニ堪ヘザルヲ以テ左ニ二三ノ例ヲ掲示ス 砲臺 被服 馬具 築城用具 器具大工、鍛冶、道、野陣用具、馬鞋、藥品、繻帶、被傷人ノ臨時需用品(例ハ葡萄酒、如

人身ノ兵役及ヒ軍稅ト稱シ戰爭間ニ賦課スル所ノ稅ニ賦課スル所ノ稅ニ付テノ論ハ末段ニ於テ別ニ陳說スル所アラントス

ニ以テ今爰ニ載セス

普魯西ニ於テ一般ノ慣習トナリタルガ如キ國法ニ據レバたニ掲クハ條件ニ於テハ決シテ大藏省ヨリ償金ヲ給セス

(第一) 進軍線路、軍隊屯集所、別ナク陸軍士官、兵卒、及ヒ軍馬ノ宿所

(第二) 必用ナル嚮導、使丁、挽車用牛馬、其他運送ノ使役(武庫ノ地ヲ轉スルニ使役スルニアラザレバ)道路、橋梁、堡砦修

理等ノ使役人夫、或ハ器具運送人夫

(第三) 武庫、病院、番兵屯所、工作場、軍用荷物貯藏ニ充テタル現場、差岡トナラザル人家或ハ空屋等、及ヒ陣營、兵隊操練大砲、車ノ置場ニ要スル地面(但シ播種ノ時季ニ至ルマデノ間)

但シ(第二)ニ載セタル軍役ノ為メニ政府ヨリ償金ヲ拂フハ馬トシ其所在地ヲ離ル、丁四里(日耳曼里)以上ニ及フキニ限レリ而シテ工人ノ手間一ヶ月申ニ一村人口ノ十分一以上ニ上リタル場合及ヒ運送ニ牛馬ヲ使役スル日數一ヶ月間ニ該地ニ使役シ来ル牛馬ノ二倍以上ニ及ベル場合ニ於ケルモ尚ホ其償金ハ平日ノ價格ニ據リテ之ヲ算ス

往時ニ在リテハ士卒軍人ノ止宿ニ家屋ヲ供スルハ全ク該家ノ
ノ義務ニシテ即チ家稅ヲ納ムルノ割合ニヨリシモノナリ然レ
モ現今ニ於テハ其制改マリテ家屋借主ト貸主トノ間ニ平等ニ
割付ルヲ例トス例ヘバ家主ハ自己所用ノ建坪ノ割合ニヨリ又
借主ハ其借家ノ建坪ノ割合ニヨリテスルガ如シ食品ノ供給ニ
キ於ケルモ亦之レト其主義ヲ同フシ且ツ是點ニ在リテハ
其義務ヲ平等均一ニセンコトヲ緊要トス何トナレバ前者ニ在テ
ハ軍ニ不便利ニ係ルノミナレモ後者ニ在テハ金及ヒ物需ノ面
ニ關スルコトアレバナリ勿論愛國ノ義士ノ如キハ自國人民ノ
兵役ニ在ルモノ、為メニハ其及フ丈ケノ力ヲ盡スヲ以テ本意
トナスト雖モ政府ヨリ斯ル費用ヲ償還スルハ亦至當公平ニ出
テザルヘカラス○普魯西ニ於テハ兵卒一人ノ止宿料ハ一日ニ
付テ五シルベルゴロ、デン^{（九）}我^{（十）}十五^{（五）}ヲ償フ然レモ陣營ヨリ

麵^{（二）}ニ當^{（一）}ヲ償フノミ然リ^{（九）}雖モ進軍ノ線路ニ於テ朝飯或ハ晚餐一
回ノミヲ供セルガ如キハ一日分食料ノ一半ヲ給ス而シテ其供ス
ル所ノ食物ハ家主ノ食スル所ト同一ナルヘシ然レモ兵士中其
食料ニ付キ不満ヲ抱キ家主ト争フ場合ニ於テハ其兵士が當
陣營ヨリ給セラル、所ノ物ト同一ナルヲ給スヘシ○又牛馬ヲ
使役ニ供スルニ至テハ田地所有者ヨリ其農業ノ大小ニ割合ニ
定數ヲ出サシムルノ慣法ナリ而シテ嘗テ此規則ノ甚タ酷ニ
不官ニ適用サレタルコトアリ日耳曼ノ兵制ニ於テハ總テ人民所
有ノ馬匹ハ政府ノ需要ニ隨ヒ非常ノ招募ニ應ジ無償ニテ軍役
ニ供セサルヲ得ス但シ日耳曼ニ於テハ此法タルガ為メ各邑村
ノ馬匹ヲ軍籍ニ入ル、コト酒人^{（一）}於ケルガ如シ而シテ平治ノ日
ニ至リ戦子^{（二）}中ニ失亡シタル馬匹ハ政府ヨリ之ノ償ヒ存在セ

モノハ之ヲ本主ニ返還シ而シ其ノ異トナリタルモノハ之ヲ賣
賣シ以テ其本價ヲ補償ス人民ヨリ糧餉貯蓄所ニ供スルノ物品
ヲ出サシメタルハ之ヲ縣郡村ニ配賦ス普魯西ニ於テハ始メ之
ヲ内務卿ノ見計ヒニ因テ諸縣ニ配當シ而シ各縣令ハ之ヲ次キ
其操定スル所ノ季負ノ助力ニヨリテ其議長更ニ之ヲ各郡ニ配
當ス而シ又之ヲ各村ニ配當スルハ「ラントラス」(即令各郡ノ
士ヨリ撰舉シタル委員ノ助力ヲ得テ之ヲ司トル)是等ノ供
給品ノ為メニ其償金ヲ積モルノ法ハ前十年間ノ平均相庭ヲ
以テ計算ス(最高價及ヒ最廉價ノ年ヲ除ク)

若シ地所或ハ建家ノ私有物ヲ軍事ノ為メニ使用スルニ於テハ
其所主ハ若干ノ償金ヲ受ルノ制規アリ(但シ堡城等ノ周圍線
ニ在ルモノハ此外ニ特例アリ)軍役ニ使用シタル職工人夫ノ賃
錢ノ其地ノ相庭ヲ以テ之ヲ拂ハサルヘラス然レモ金ク其地

五

方利益ノ為ニナシタル軍工例ヘバ敵ノ侵襲ヲ防禦セシカ
メニ堡城ヲ築造セバ如キ特外ノ場合ニ在テハ地方ノ資金ヲ
以テ之ヲ償フヲ至當トス

右ニ記載セル總テノ費金ハ何等ノモノヲ以テ拂フカト問ハ
ニ我輩ハ一般ニ採用サレタル所ノモノヲ考フルニ大概現金又
ハ証書「レエニザンス」ヲ發行シ以テ之ヲ拂ヘリ現金ニテナ
ス拂ヒ方就中人民一般ニ係ルモノニ非スレテ一人一個ノ實際ノ費
用ニ出ルモノ、如キ政府ノ猶豫ナク拂ハサルヲ得サルモ
政府ニ於テ差問ナキハ毎ニ之ヲ拂ハサルヲ得ス例ヘバ被服
馬具、戰場諸需品、及ヒ藥品、繃帶供給ノ如キハ普魯西ニ於テハ陸
軍會計官ヨリ供給時ノ該地ノ平均相庭ヲ以テ拂ヘリ糧食庫ニ
供給セル物品及ヒ兵士宿料等ノ如キ全國ニ賦課スヘキ性質ノ
モノ、代價拂方ノ為メニハ政府シテインテレスト、レコニザン

ス即チ利付假債券ヲ發行ス即チ金ニ付給ルハ兵士宿料ヲ
記券ヲ以テ
○政府ハ此償金ヲ拂フニ之ヲ各縣ニ賦課シ而シテ各
郡村ヨリ又之ヲ各人民ニ賦課ス普魯西ニ於テハ之ヲ公平ニ賦
課スルハ其郡村代該人ノ任ナリ而シテ其決議スル所ニ對シ之ヲ
控訴スルヲ許サス○償金ヲ拂渡スニハ相當ノ日限ヲ設ケ人民
ヨリ償金請求申出ノ爲メ時日ノ猶豫ヲ與ヘ而シテ日限ヲ以テ
之ヲ出テタルハ終テ受理セサルモノトス

第二 敵ニ強取セラレタル軍需

外敵一國ニ侵入シ其人民ヨリ軍需ヲ強取スル権理ノ有無ト之
レニ因テ起ル所ノ損害ヲ内國政府(侵入セラレタル)ニ於テ後日其人民
ニ償ヘベキ義務ノ有無トニ付キ大ニ政事家ノ論議スル所トナ
リ或人ノ論ニハ戰ハ殆ホ訴訟ノ裁判ニ於ケル如ク平定ノ後ハ
其原彼中何レナニテ其裁判ハ賞ヲ拂ハサルベカラスト然リト

然レ此論ヤ其當ヲ得タルモノニアラス何トナレバ外敵ノ爲メ
ニ強取セラレタル軍需ヲ政府ニテ償フヘキ法律上ニ其處理
ナク且ツ政略上ニ於テモ之ヲ要スル所ニ非ルハ其理ノ最モ明
亮ナルモノナレバナリ

今更ニ政府ノ償フヘキ理ナキ所以ヲ明亮ニ論述セン政府ハ自
ラ好テ其人民ニ損害ヲ蒙ムラシメタルニ非ス却テ之レガ爲メ
ニ償ヲ盡シテ保護シタル程ナレバ決シテ政府ノ務ヲ怠漫セシ
ヨリ起リタル損害ニモ非ス然レバ政府ニ於テハ好テ之ヲ怠
シタルニモ非ス又怠漫ヨリ起ラシメタルニモ非ス是ヲ以テ
之ヲ觀レバ政府ニ於テ其損害ヲ償フベキ義務ナキヤ判然タリ
蓋シ政府ヨリ此損害ノ因テ来ル所ヲ論スレバ何處マデモ天災
ト看做サバルヘカラス而シテ又罹災ノ人民ニ於テモ亦之ヲ不幸
災災ノ致ス所ト覺悟スルヨリ外アルベカラズ是レ政府ニ於テ

人民ノ外敵ノ爲ニ強取セラレタル損害ヲ償フヘカラサル所
以ノ論說ニシテ亦大ニ法理ニ通ヘリト云フヘシ更ニ政畧上ニ
於テモ之ヲ償フヲ要セサル所以ニ論及セン政府若シ其人民ノ
外敵ノ爲ニ強取セラレタル損害ヲ償フヘキ義務ヲ擔
當ストセバ其狀況果シテ如何ガヤ政府ノ困難ハ實ニ言フベカ
ラスシテ償金ヲ請求スルノ員額ハ山岳ノ大ヲナシ獨リ其稅害
ニ否ヲ検査シ能ハサルニ至ルノミナラス外敵ノ占據ハル所
トナレル一地方ヲ以テ全國ノ精血ヲ吸収スルノ好手段ヲ外敵
ニ與フルガ如キニ至ルヤ必セリ何トナレバ若シ外敵ヲシテ一
度政府ノ賠償ヲナスコトヲ知ラシメハ獨リ占據スル所ノ地方人
民ノ力ニ堪フルニ至ケル軍需ヲ強取スルノミナラス全國ノ力ヲ
拳テ纔ニ償ヒ能フニ至ケルモノ吸収スルニ至ルベケレバナリ加
ニ該地ノ人民後日賠償ヲ受ケルヲ知ルヲ以テ徒ガ手ヲ決シテ

敵兵ノ需求ニ堪レ從ヒ其欲スル所ヲ逞フセシメ平常財産掠奪
ノ厄ニ遭遇セルニ至ルガ如ク奮勇擲命以テ防禦ヲナサス
之レガ爲ニ國家ノ抵抗カラ減殺スルニ至ラン是レ政畧上ヨ
リ償金ヲ給スルヲ利アラストスル所以ノ根理ナリ
右ノ所論ニ因テ考フレバ政府ニ於テハ法律上ヨリモ政略上ニ
テモ外敵ノ爲ニ強取セラレタル損害ヲ償フヘキ義務ナシ然
レハ憐愍上ヨリ憐察スル中ハ之ヲ給スベキ情ナキニ非ハズ
是レトテモ其公益如何ニ着目シテ之ヲ給スルト否トヲ定メ
サレヘカラス若シ被害者ノ損害ヲ被マリシハ全ク公益ノ爲メ
ニセシニ因ルノ事實アラバ例ヘバ或ル城下ノ人民城兵ヲ助ケ
強禦力防以テ敵兵ニ當リシガ爲メ敵兵之ヲ悉リ其人民ノ財産
ヲ掠奪シテ怨恨ヲ報スル場合ニ於ケル如シ人民ニ於テ相當ノ
賠償ヲ請求スルノ理アリ然リト雖モ斯ニ時ニ於テモ尚ホ確乎

タル権理アルニ非スシテ其請求ヲ受理スルモ否トハ唯政府、
見込ニアルノミナリ故ニ斯ル場合ニ於ケル公益ノ要点ハ被害
者ノ敵ニ對シテ為シタル抗抵力ノ強弱ニ因テ償金ノ當否ヲ論
シ而シテ怯懦卑屈ノモノハ大藏省ヨリ毫モ償金ヲ給スヘキモノ
ニ非ルヲ明ニ人民ニ知ラシムルニ在リ是故ニ人民ノ外敵ニ
軍需ヲ供スル其主意金ヲ私有物ノ保護ヲ求ムル為メニスルガ
或ハ其身体ノ愛護ヲ買ハンガ為メニスルガ如キハ次レテ償
金ヲ給スヘカラス人民自ラ其損害ヲ負擔スヘシ是ニ由テ之ヲ
觀レバ償金ヲ與フルハ金ヲ奮勇抗抵ノ賞ニシテ償金ヲ給セサ
ルハ怯懦卑屈ノ罰ナリ如此キ法ヲ以テ損害ヲ償フハ必ス國
家ノ為メニハ大ニ抗抵ノ力ヲ益シ外敵ノ為メニハ大ニ不利ト
ナラン而シテ此良法ヲ以テ徒ニ被害者ニ償金ヲ給スルハ政府ノ
義務ナラトスルノ論ニ比スレバ其得失豈啻天淵ノミナランヤ

是等ノ償金ハ必ス毎ニ大政府ニテ拂フヲ要セス之ヲ各縣郡村
ニ分擔セシムル事ヲ得ベシ

近世ノ戦争ニ於テハ外敵ガ軍需ヲ強取スルノ慣習之ヲ一個人
ツヨリセステ一縣或ハ一郡一村ニ賦課シ其取立方ニ至テ
ハ之ヲ地方官ニ委託セリ而シテ地方官ノ之ヲ擔當則旋スルモノ
ハ蓋シ其損害該地ノ人民一般ニ平均シテ成ルヘキ丈ケ災害ヲ
幾分カ免レシメンガ為メ租稅收入ノ法ニ據リ之ヲ公平ノ取立
チント欲スレバナリ然ルニ如此キノ賦課方ヲ以テシテ若シ或
人他人ヨリ重ク賦課セラルハ一アル片ハ之ヲ償フニハ其村ノ
公有金ヲ以テシ又若シ或村他村ヨリ重ク賦課セラルハ一アル
片ハ其郡ノ公有金ヲ以テシ又若シ或郡格外ニ重ク賦課セラル
ハ一アル片ハ縣ノ公有金ヲ以テシ又若シ或縣格外ニ重ク賦課
セラルハ一アル片ハ大藏府ノ大藏省ヨリ之ヲ償ナハサルベカ

ラス

若シ戦争間或ハ鎮靜ニ至テ外敵ニ強取セラレタル軍需ノ資金ヲ外敵ヨリ内国政府ニ於テ収取スルヲアラバ政府ハ之ニ被害ノ人民ニ分配スルノ義務アリトス然レモ平常アルガ如ク敵ヨリ分毫モ賠償ヲササス或ハ僅ニ損害ノ一小部分ヲ償フノミノ場合ニ在テ政府ヨリ被害者ニ償金ヲ給スル中ハ是レ全ク恩賜ニ出ルナリ又兵害ニ罹リ貧困ニ陥リタル一縣ヲ徙前ニ恢復セン為メニ免稅スルモ亦是レト其主義ヲ同フス我輩ハ第三條即チ兵難ノ条ヲ論スルノ段ニ達ス内国政府ノ軍兵ノ為メニ起ル兵難ヲ分テ二トス甲ハ軍隊ノ直令ニ因テ起ル損害乙ハ過誤ヨリ生スル損害或ハ一個人ノ害心ヨリ生スル損害ナリ

法律上ニ於テ政府ノ損害ヲ賠償セサルベカラサル義務ヲ擔承

九

スルハ甲條ニ限レリ乙条ノ場合ニ於ケルガ如キハ之ヲ償フモ償ハザルモ其自由ニ在リ且ツ大藏省ノ斟酌ニ因テ之ヲ左右スルヲ得ルモノナレバ斷シテ之ヲ法律上ニ於テ負擔スルキ政府ノ義務ト言フベカラザルモノアリ例ヘハ兵乱ノ慘害ヨリシテ牛馬ノ疫流行シ牛馬之レガ為メニ斃死シ或ハ誤ニ火藥庫ノ破裂スルヲアリテ人民ノ私有物ヲ損傷シ或ハ潰走兵ノ人家ニ放火シ若シクハ私有物ヲ強奪シタル等ノ如キハ必ス其償給スベキ理アルニ非ス然レモ又政府ニ於テ必ス賠償セサルヘカサル數件アリ例ヘバ政府ノ官吏ヨリ人民ノ私有物ヲ陸軍ノ占有ニ屬セシメ而シテ滅盡シ或ハ敵ヨリ軍需ヲ要求セル所ニ方リ政府ヨリ其地一般ノ人民ヲ保護ヤシガ爲メニ一時其地方ノ住民中ニ付テ或ル數人ニ依頼シ之ヲ出サシムル等ノ如キハ必ス賠償セサルベカラス但シ普魯西ニ於テハ兵戰ノ偶然ナリ

生シタル損害、償金請求訴訟ハ金ク受取セス且ツ法律上之ヲ請
求スルヲ得サルモノナリ。

次條ニ於テ論スル所ハ如何ナル方法ヲ以テ政府ハ賠償ニ充ル
金額ヲ仕拂フベキヤノ問題ニ係レリ。

政府ハ如此キ巨大ノ債ヲ負フニ因テ理財ノ道ヲ失フニ至ラス
ヤ又如此ク巨額ノ支出アルガ爲メニ全勝ヲ制スルニ要スル所
ノ勢力ト戰畧ヲ逞フスルノ資本ヲ減殺スルニ至ラスバ、恐懼
スルモノアラシ然レモ之ヲ救フノ術甚タ難キニアラザルナリ
今斯ル巨大ノ重任ヲ僅々一二ノ郡村ニ負擔セシムルハ其重ヲ安
ニ其力ニ堪ヘサルモ若シ之ヲ国内一般人民ニ平分シ衆カラ合
レテ一ト爲レ買取セシメバ容易ニ之ヲ負擔シ得ヘシ故ニ戰費
ヲ速且ツ十分ニ充備セシムル欲セバ戰端開クルノ後、後退モ猶豫
スルヲナク全日一般ニ新稅ヲ課ヘルヲ要トス（但シ収入稅或ハ

財産稅ニ課スルヲ最モ好シトス）而シテ曾テ軍需ノ代價ニ拂ヒシ
証券ヲ其券面ノ價格ヲ以テ新稅ノ収納ニ充ルヲ許スベシ（即チ
一村或ハ一人ニ軍需ノ代價トシテ典ヘタル証券）右ノ如ク以テ
スル中ハ該証券自ラ通用上其價格ヲ落サス券面通りニ交換
價格ヲ保チ且ツ二様ノ用ニ供スルノ便アリ（一ハ軍需ハ一
ハ人民ノ納稅）

政府ヨリ軍需ノ代價ヲ拂フハ公ケノ負擔ヲ公平ニ分任シメ
ンガ爲メニスルニシテ決シテ之ヲ以テ一人ニ利益ヲ與ヘント
スルニアラサレバ其代價ハ必ス戰時ノ相庭ヲ以テ定ムベキノ
理ナク全ク平時數年間ノ平均相庭ヲ以テ之ヲ拂フベキモト
ス

右ニ余ガ略述シタル所ノ日耳曼政事家ノ論說ト法律ノ旨義ト
ハ就中外畧ト一戰爭ニ付テ通用スル所ノモノナリ然リ而シテ又

内乱ノ害ニ付テハ普魯西ノ法律中ニ就テ左ニ掲ケル所ノ千八百五十年三月十一日議定ノ法ヲ搜索シ得タリ

若シ或ル一地方ニ乱民嘯集シ良民或ハ其暴害ニ罹リ或ハ之ヲ防禦セシガ爲メニ法律上ノ處分ヲ施サルニ因リ所有物若シクハ身体ニ傷害ヲ蒙リシキハ該地自ラ其損害ヲ償フベキ責ニ任ス然レモ其損害他所ヨリ該地ノ境内ニ闖入セシ乱民ヨリ起ルニシテ實ニ該地ノ力之ヲ防禦スルニ足ラザルハ明ヨリナルキハ之ヲ償フハ該地ノ責任ニアラスシテ闖入セシ乱民ノ居住地即チ乱民ヲ嘯集セシメシ地方ノ責任ナルベシ但シ該地方ニ於テモ亦實ニ之ヲ禁止スルノ力ニ乏シキ明証アルニ於テハ此限ニアラス而シテ該地方ノ良民ハ實ニ法律上損害ヲ償フベキ義務アルモノ即チ暴乱ヲ起シタルモノ或ハ其黨典ヲシテ之ヲ償ハシムルヲ得ベシ

十一

日耳曼聯邦内ニテモ亦如此キ旨意ノ法律アリ

千八百七十七年四月四日

バロニアレキサンドル、ランシーボルト

述

